

柔道整復科

生理学4

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	砂川正隆			実務 経験	無	職種					

授業概要

人体の生理的活動を具体的に学び理解を深めます。

到達目標

生理学は本来、ヒトが生きているということはどういうことか、ヒトの体は生きていくためにどのような営みをしているのかを考え、健康や病気を理解するために欠かせない基礎的学問である。将来、外傷・障害の治療に当たる柔道整復師を目指す学生にとって必要欠くべからざる知識であり、基本的な生理学の知識を習得し医療現場で活かす事を目標とする。

授業方法

教科書を中心に授業を行う。生理学は、人体の機能を明らかにし、その機能がどのような機序（メカニズム）で現れるかを追求する学問である。人体の機能の理解に取り組む方法として、まず、人体を構成する各要素に分解してその個々の機能を追求し、さらに、その機能がどのようなしくみ（機序）で発現するかを探る。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書（生理学-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	呼吸③
第2回	尿の生成と排泄①
第3回	尿の生成と排泄②

第4回	栄養と代謝①
第5回	栄養と代謝②
第6回	消化と吸収①
第7回	消化と吸収②
第8回	7回までの振り返りと確認演習
第9回	消化と吸収③
第10回	体温の調節
第11回	体液
第12回	高齢者の生理学的特徴・変化
第13回	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化
第14回	13回までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ